

令和3年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(国語) 准教授 宮田 航平

取組状況	
教育	<p>1. 小テストとスピーチ・口頭発表の実施 「国語Ⅰ」の授業において、毎回冒頭で漢字テストを実施し、語句の意味と併せて定着を図った。またスピーチや口頭発表も実施し、従来の「国語」の授業で不足しがちであった「話すこと」についても意識を促すことで、聞き手を想定した言語表現力を養成した。</p> <p>2. オンライン学習教材の開発と授業実践 「国語Ⅰ」「日本語表現法Ⅰ」において、シラバスに記載した到達目標の達成に向けて、主体的・対話的な学びを促すためのオンライン学習教材の改善を行った。国語に苦手意識を持つ学生でも段階的な理解が得られるよう、発問に工夫を凝らした。また「文章表現法」においては、文章力向上サービス「文採」を導入し、学生の課題を把握することが、きめ細やかな指導を行い、実践的な言語表現力を養成した。</p>
研究	<p>1. 「児童文学が「格差社会」に見出す希望は？（『野原できみとピクニック』濱野京子著）」（「Kaisei web」2021年4月）</p> <p>2. 「1970年代のあまんきみこ作品考——児童出版メディアと「童話」のゆくえ」（日本児童文学学会第60回研究大会、2021年11月20日）</p> <p>3. 共著『日本の文学者36人の肖像（上）』（あすなろ書房、2021年12月）</p> <p>4. 共著『日本の文学者36人の肖像（下）』（あすなろ書房、2021年12月）</p> <p>5. 共著『新言語文化』（三省堂、2022年3月）※検定教科書</p> <p>6. 共著『新言語文化 指導書』（三省堂、2022年3月）</p> <p>7. 日本学術振興会科学研究費助成事業「戦後児童出版メディアにおける「童話」の編成——戦前・戦中期との関わりから」採択（若手研究、2020～2024年）</p>
社会貢献	<p>1. OPC小中学生対象講座「中学生のための小論文講座」（企画・講師、全2回、2021年8月）</p> <p>2. 日本児童文学学会（運営委員）</p> <p>3. あまんきみこ研究会（会計・会務委員）</p> <p>4. 三省堂高等学校国語教科書編集委員会（編集委員）</p>